

教材教具および題材	学部	授業名・集団名 (主たる教科領域)	執筆者
世界に一つだけの四字熟語	高養	国語 2・3年 (国語)	牧野由子 宮北香織

<ねらい>

- 自分の目標や思いを、知っている漢字や熟語で表現する。
- 筆遣いを学ぶ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①よく使われる熟語や四字熟語について学習する。
- ↓
- ②自分の目標や今の素直な気持ちを書き出してみる。
- ↓
- ③四字熟語にする。
- ④筆を使って書く。

オリジナルの四字熟語を作ることがどうしても難しい生徒は、もともとある四字熟語の一文字を変えるだけでもよい、また、それでも難しい生徒に関しては、何も変更しなくても、自分なりの思いをもつてもともとある四字熟語を選び、出品票に書くという対応を行った。

書道に関しては、筆の持ち方、姿勢について再度確認したあと、新聞紙に“とめ”、“はらい”“はね”などの基本的な筆遣いを練習したあと、長半紙に清書をした。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

漢字に対して苦手意識が強い生徒もいる中、自分の目標や思いを表現するというこ
とで、生徒たちは積極的に漢字の意味などを調べて取り組むことができた。特に3年
生は卒業間近ということもあり、自分なりの目標などを掲げ、全員がオリジナルの四
字熟語を作ることができた。



<その他（材料、費用、購入先等）>

国語辞典（熟語辞典など） 長半紙 書道道具 模造紙